

豊水

Shizuoka Deep Seawater ARC NEWS

Vol. 21

静岡県水産技術研究所

駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center
of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery

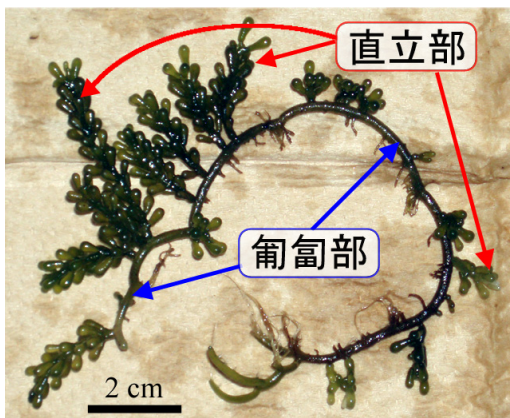
駿河湾深層水による海藻類 4 種の培養

駿河湾深層水を用いた海藻類の陸上養殖適種を選定するため、食用となるフサイワズタ、ヒジキ、スサビノリおよび機能性成分を持つアミジグサにおいて深層水中での生長について調べました。

培養海水には、表層海水（焼津地先水深 24m）と駿河湾深層水（水深 397m および 687m）を用い、深層水は必要に応じて加温しました。フサイワズタとスサビノリは屋内で、ヒジキとアミジグサは屋外でそれぞれ培養しました。

フサイワズタの藻体湿重量は、表層水区に比べて 397m 区で 1.3 倍、687m 区で 1.2 倍になりました。

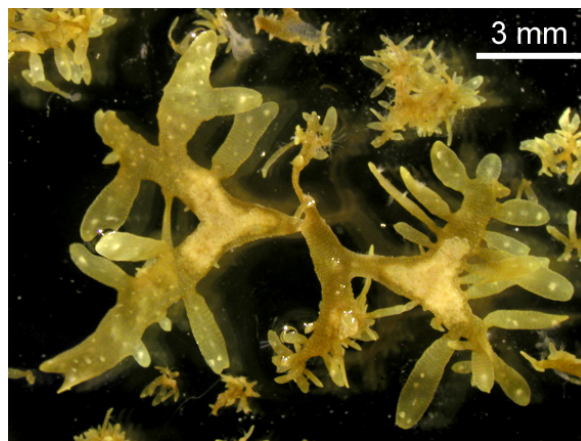
スサビノリの平均葉長の増加率は表層水区に比べて 397m 区で 1.3 倍、687m 区で 1.2 倍でした。



フサイワツタ



397m 深層水で培養したヒジキの平均湿重量・全長の増加率は、それぞれ表層水区の 2.0、1.8 倍でした。アミジグサ（下図）は培養開始時の藻体湿重量 2.6g から、14 日目 37.9g、21 日目 72.3g と順調に増加しました。このように駿河湾深層水は海藻類の生長に適していました。



アミジグサ

*本研究は都市エリア産官学連携促進事業における東海大学との共同研究の成果であり、平成 20 年度日本水産学会春季大会で発表した。

（二村和視）